

物価対策、不登校支援、国保値上げストップ



無会派
(日本共産党国分寺市議団)



物価高騰対策を

問) しんぐるまざあず・ふおーらむが夏休み中のひとり親家庭にアンケート。1日3回食べられない世帯が41%（昨年34%）。必要なお米を買えなかった世帯が66%（同41%）。こうした低所得世帯への支援が早急に必要。

答) 状況は認識している。国交付金を活用した効果的・効率的な支援策を速やかに検討する。

※コメ価格の安定は国の責任。しかし市としても必要な支援策を早急に実施するべき。

不登校への支援を

問) 学校給食が無償化されたが、対象外になっている不登校の子ども対象にするべき。

答) 適切な時期に判断する。

※遅くとも来年4月から対象にすべき。またフリースクールへの補助、自閉症・情緒障害クラスでの不登校対策について今後質問する。

国民健康保険税の値上げストップ

右表のように国保税の負担は最終的には所得の2割を超える。負担増が青天井。値上げストップのために国庫補助の抜本的な増額を国に求め、市としても国保への補助を維持するべき。

公共施設のトイレに生理ナップキンの設置を

生理ナップキンは小・中学校トイレ、また市役所などで窓口配布しているが、公共施設のトイレにも設置するよう求めた。

国民健康保険税（年額）と負担割合の試算

世帯構成	世帯所得	2018年度 (H30)	2026年度 (R8) 予定	2025年度 東京都標準保険料率
40代夫婦 小学生ひとり	①所得 230万円	¥278,368	¥406,231	¥482,469
	所得に対する負担割合	12.1%	17.7%	21.0%
	②所得 294万円	¥321,824	¥483,863	¥567,525
	所得に対する負担割合	10.9%	16.5%	19.3%

※市資料を基に中山が試算

制度のはざまにいる市民への考慮を



◇障がいの有無にかかわらず安心して過ごせる子どもの環境づくりを◇

●学童保育所の質を高めるため、東京都認証学童クラブ事業が始まりました。導入予定は?

→令和8年度新設の民設民営学童保育所を含め、定員内の運用が可能な施設は積極的に認証を受けるよう努め、保育の質等の向上を目指します。

●市立小・中学校の特別支援学級などの教職員に向けた研修に、支援の専門家として作業療法士の講座を取り入れてはいかがでしょうか?

→研修では、作業療法士の知見を特別支援学校の特別支援教育コーディネーターから助言頂いています。⇒毎朝5分の運動など実践的内容も

効果大。講師に作業療法士の召喚を要望します。

●現在第5次国分寺市特別支援教育基本計画の策定中。子どもたちの意見を募集するのですが、どのように計画に活かされますか?

→本計画と「子ども版」の両方に掲載します。この意見募集を通じ、自らの意見が多くの人間に伝わり計画策定に関わる経験をすることで、社会の一員としての主体性を高めたいと考えます。

◇ひとり親家庭への支援について◇

●離婚前など実質的にひとり親で暮らす家庭に向けた事業周知にはどんな工夫がありますか?

→母子家庭・父子家庭のためのひとり親家庭のしおりを作成しています。相談者が窓口へ来ら

国分寺・生活者
ネットワーク



れた際は二次元コード付のカードもお渡しし、しおりの情報をデータでも確認できます。

●ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業ではヘルパー不足が課題。確保に繋げるため、資格要件の見直しを検討してはいかがでしょうか?

→市が認めた研修の修了者もヘルパーとして登録可能であるため、他自治体の取組も情報収集しながら人材確保に向けて検討します。

※その他、障害児通所支援に必要な受給者証取得について、中学卒業後の障がいのある子どもの放課後居場所についてなど質問しました。

もとまちプラザの移転と機能拡充について



【鳥居】1. もとまちプラザについては、賃貸借施設での運営、バリアフリー未対応や老朽化などの課題があったが、移転が決定している。計画の策定については、地域住民の声を広く集めて反映したとお聞きしている。新もとまちプラザでは、どのような新しい設備や機能を有するのか伺う。【答弁】新施設については、もとまちプラザと同程度の諸室や機能を有し、バリアフリー化をする。生きがいセンターについては、多目的室で実施することとし、諸室を効率的に運用する。他の生きがいセンターで利用者から要望の多い、電位治療器を配置する。新たな機能としては、フリースペースを設置し、来

訪者が交流や休憩ができるスペースとする他、文化財の展示を行う。屋外には、太陽光発電や大型バスの駐車場を確保するとともに、子供たちが遊び、防災訓練や災害時には支援活動に使用するなど、多様な用途に利用可能なコンクリート広場を整備する予定である。【鳥居】要望を丁寧にくみ取り、実施設計を進めていることを高く評価したい。併せて、コンクリート広場では、スケートボードの使用やボール遊びが出来るよう要望する。また、大型バスの駐車場の利用頻度が高くないことから、多目的利用としてドッグランの設置を要望する。【鳥居】2. 学校における飼育動物（哺乳類・鳥類）の実態

自由民主党国分寺
鳥居 あかね



においては、近年課題が多いことが浮き彫りとなっている。暑さや寒さに弱い動物のために、温度や湿度を一定に保てる飼育環境の確保が難しいこと、また、土日祝の連休や夏休み・冬休みの長期休暇中の動物の世話が教職員やボランティアに負担になるなど懸念される。現時点で市内の小・中学校では、哺乳類・鳥類の飼育は行っていないとのことだが、教育委員会としても、今後注視していただきたい。【鳥居】3. 令和9年度の保育所の新設により、待機児童ゼロへの道筋が見えたことを高く評価する。

産みたい人が産み育てやすい環境づくりを



産前のサポートの拡充を

Q: はじめての出産を迎える妊婦とパートナーは大きな不安を抱えている。市内に12ヶ所ある親子ひろばは、プレママ・プレパパの利用が少ない。産前の人も気軽に出かけられる地域の居場所として、ベビー服やベビー用品のリユース・リサイクルコーナーを常設で作ってほしい。

A: あすなろひろばとプレイスステーションにはベビー服のリサイクルコーナーあり。しかし課題が多く、他の場所での増設は難しい。

認可保育所を希望する待機児童の解消を

Q: 共働きが増えている今、子どもを保育園に預けられないのではないかという不安が、子ど

もを産み育てることをためらう理由になるほど深刻。特に働く女性にとってキャリアの断絶に繋がる。来年度は待機児童がゼロになるのか。

A: 来年度も待機児童が発生する可能性があるため、2027年度に新しく保育園を作ることを決定。これにより待機児童の解消を見込める。

性犯罪・性暴力被害者への支援の強化を

市には犯罪被害者等支援条例があるが、被害者の困り事への対応や長期的なケアなどのきめ細かい支援が足りない。他自治体のように、転居費用、家事・育児支援、カウンセリング費用、緊急避妊薬の無償提供など、支援メニューの拡充を求めるがいかがか。

無会派（グリーンな国分寺）
鈴木 ちひろ



A: 都や関係機関の支援メニューを活用するため、市として強化はしない。

太陽光パネルのリサイクル促進に向けて

Q: 2050年ゼロカーボンシティの実現を目指し、太陽光パネルの設置に注力してきたが、今後はリサイクルまで責任を持って考えることが重要。自然を壊す大規模なメガソーラーの建設や、太陽光パネルの埋め立てなどに加担しないように。現在、7つの公共施設に設置している太陽光パネルを将来的にリサイクルすることを求める。

A: リサイクル推進は重要で、取り組んでいく。

友だち追加

はこちらから



議会情報をスマホに通知（詳しくは、市報こくぶんじ2面へ）

市議会の日程や議会だよりを国分寺市公式LINEで発信しています。